

■ジョージナカシマ記念館について



○ジョージ ナカシマ記念館

ジョージナカシマ記念館は、日系アメリカ人家具デザイナー・ジョージナカシマの生き方や、ものづくりに対する考え方、その哲学を、作品を通してたくさんの人に知ってもらいたいとの思いから生まれました。1964年以来、ジョージナカシマが世界で唯一その技術を認め、ともに家具製作をしてきた桜製作所が創業60周年を記念して設立。1930年代、レイモンド事務所で建築家として勤めていた時代に設計した軽井沢の聖パウロ教会の椅子、1964年に製作の第1歩としてアメリカの工房から送られてきたサンプルをはじめ、1968年第1回小田急ハルクの展覧会の出品作など、日本とアメリカ双方で製作された約60点の作品を所蔵し、ナカシマの生い立ちをたどる貴重な写真や手紙、ドローイングとともに展示しています。

○ジョージ ナカシマ (1905～1990)

20世紀を代表する家具デザイナーの一人。

ジョージナカシマは日系の家具デザイナーとして、なによりも自然を愛し、木を愛し、日本を愛し、米国を愛した。素材の美しさを限界まで生かす独特のデザインで広く世界に知られている。素材もさることながら、極めて高度な製作技術を要求するデザインでもある。

素材としての木に第二の人生を与えるという、ナカシマ独特の哲学と感性でぎりぎりまでに研ぎ澄まされた家具は、形容し難い美しさがある。

